

学校だより



きらめく子ら

標茶町立中茶安別小中学校 No. 8 令和6年11月25日発行

3・4年生の縄文文化学習！

校長 西村 浩一

今年度、本校がふるさと教育の指定を受けたことは、学校だよりの5月号でお伝えしてまいりました。現在小学3・4年生が縄文時代について探究しているところですが、10月には株式会社ジオ・ラボから講師を招いて縄文土器や黒曜石の話をしていただきました。ジオ・ラボは元々博物館で学芸員をやっていた方などの専門家を集めて作った会社で、「地域資源の調査・分析から活用・発信まで様々な場面で、地方自治体や観光協会など地域の活動をサポート」することを業務としているそうです。黒曜石でできた実物の石器や当時と同じ手法で作られた縄文土器を持参し、子供たちに触らせていただきました。子供たちは目を輝かせながら話を聴いたり、実物に触れたりしていました。

11月には二タイ・トにスクールバスで訪問し、展示物を見学したり、学芸員の方から標茶町における縄文時代の解説をしていただいたり、疑問点を質問したりしました。標茶町では、特に塘路湖周辺を中心にたくさんの土器が発見されています。標茶町内全体ではなんと210カ所もの先史時代の遺跡が発掘されており、釧路地方を代表する遺跡の集中する地域となっているそうです。ちなみに釧路地方の代表する遺跡としては北斗遺跡も有名ですが、昨年度高学年の子供たちが修学旅行で見学しています。

子供たちは、これまで話を聴いたり調べたりしたことをまとめ、3学期の参観日にまとめたことを発表する予定です。取り組んだ子供たちや発表を聞いた子供たちがこの学習を通じて、自分たちの住む標茶町にもかつて豊かな縄文文化が栄えていたことに夢とロマンを感じてくれたらと願っています。12月3日には標茶の未来について中学生が総合の発表会を行います。どちらも子供たちがふるさと標茶への愛着をいっそう深めるきっかけになることでしょう。

さて、2学期も残すところあと1ヶ月となりました。年末の忙しい最中とはなりますが、お父様方にはスケートリンク作りの水まき作業でお世話になります。毎年本当にありがとうございます。総務部のお父様方に検討していただき、今年は昨年度より若干リンクを広くします。11月6日にはお父様方にお集まりいただき、リンク枠のピン打ちなどの造成作業も行っていました。ありがとうございました。完成までに、お仕事の忙しい最中、何度もお集まりいただきお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

また、昨年インフルエンザ等の感染症流行により中止になってしまったもちつき大会ですが、12月14日（土）に予定しています。新型コロナの影響でしばらくやっていませんでしたので、本当に久しぶりになります。そのため、今年も阿歴内の前振興会長・現コミュニティ・スクール委員の千葉さんに当日のアドバイスをお願いしています。感染症が流行らずに何とかして今年こそは再開できることを祈っています。PTA生活委員会の方々が中心となり進めてくださり、お世話になります。たくさんの保護者の皆様のご参加・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

家庭や地域との連携を深め、知・徳・体をバランスよくほぐくむ

■ 12月行事予定 ■

日	曜	行事予定	給食	部活
1	日	週休日		
2	月	ALT 小1・2 生活科見学	○	×
3	火	図書館バス 参観日(中総合発表会)・学級懇談・三者面談	○	×
4	水		○	×
5	木	小1・2 読み聞かせ 標茶町学力・生活調査①	○	○
6	金	委員会 標茶町学力・生活調査②	○	×
7	土	週休日		
8	日	週休日		
9	月	公立高校 Web 出願下書き・点検 代表委員会 全校朝会 学級討議(児童生徒総会議案書:後期反省) ALT	○	×
10	火	公立高校 Web 出願送信・印刷 選挙管理委員会①	○	×
11	水	午前授業	○	×
12	木	選挙管理委員会② 前期児童生徒会役員選挙公示 学期末清掃① 特別時間割	○	○
13	金	公立高校願書(完成版)提出区切 もちつき大会前日準備 特別時程	○	×
14	土	土曜授業日 もちつき大会	×	×
15	日	週休日		
16	月	中学校冬休み課題一覧配布 もちつき大会反省 午前授業 ALT	○	×
17	火	小あゆみ提出 中通知票提出 図書館バス 学期末清掃② 特別時程	○	×
18	水	中3学年末テスト範囲配布 願書点検 自己推薦書区切 学期末清掃③ 特別時程	○	×
19	木	選挙管理委員会③ 学期末清掃④ 特別時程	○	○
20	金	中3 願書下書き 選挙管理委員会④ 児童生徒会役員選挙告示 委員会	○	×
21	土	週休日		
22	日	週休日		
23	月	中3 願書清書 学期末清掃⑤ 特別時程	○	×
24	火	中3 願書点検 学期末清掃⑥ 中体連壮行会 2学期終業式 学校便り発行 特別時程	○	×
25	水	中 冬休み学習会① 冬季休業①		
26	木	中 冬休み学習会② 冬季休業②		
27	金	冬季休業③		
28	土	冬季休業④		
29	日	冬季休業⑤ 年末休日 学校閉庁日		
30	月	冬季休業⑥ 元日 年始休日 学校閉庁日		
31	火	冬季休業⑦ 年始休日 学校閉庁日		

※予定が変更になる場合もあります。各学年の時間割にてご確認ください。

学校ホームページ 随時更新中

日常の学校の様子は、トップページのフォトアルバムからご覧いただけます。検索サイトで「中茶安別小中学校」と検索するか、右記QRコードよりアクセスしてご覧ください。



2校合同柔道

10月21日(月)、24日(木)、30日(水)の3日間、町の武道場をお借りして、虹別中学校との合同柔道を実施しました。受け身や技だけでなく、立礼や座礼など柔道の礼法や武道に対する心構えなど、幅広く学ぶことができました。

ご指導いただいた標茶町スポーツ指導員の皆様、本当にありがとうございました。



秋の学校林活動

本校の「学校林活動」は、森林に関する体験的な活動を通して、自然を大切にしようとする心情を育てることをねらいに行われてきた伝統行事です。

10月28日(月)には、釧路湿原森林ふれあいセンターから4名の方に講師として来ていただき、今年度3回目の活動を行いました。

小学校低・中学年のグループは、グラウンドにある樹木についての講話の後、樹木を実際に観察しました。また、小学校高学年と中学生のグループは、夏の学校林活動で制作した樹名板を設置した後、樹木の高さや幹の直径を測り、樹木図鑑を完成させました。

子どもたち一人一人が、体験を通して、自然のはたらきや自分たちの生活とのかかわりについて気づくことができました。講師の皆様、本当にありがとうございました。



藤原先生 復帰

昨年9月より産休に入っていた特別支援教育支援員の藤原千草先生が、11月1日(金)より復帰されました。

子どもたちが安心して楽しい学校生活を送れるようサポートしていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



スケートリンク造成作業

10月29日(火)に小学校3年生以上の児童生徒と教職員とで、スケートリンクの枠板を運びました。また、11月6日(水)には、たくさんの保護者の方にご協力をいただき、枠板の固定作業を行いました。今年度は、昨年度よりも少しだけリンクのサイズを大きくしました。子どもたちが楽しみながら滑走できるよう、体育の授業やスケート少年団の練習などを中心に活用していきます。

今後、降雪を待ってリンクの水撒きを行っていきます。その際、保護者の皆様にはまたご協力をいただくことになると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



少年の主張大会

11月9日(土)に、令和6年度標茶町少年の主張大会が行われ、本校を代表して小学校6年の平野優惺さん、長坂和都さん、中学校1年の長坂茉利さんが出場しました。

優惺さんと和都さんの演題は「修学旅行を通して学んだこと」で、十勝でお菓子作りが盛んになった理由やお菓子の特徴について、調べたことを報告していました。

茉利さんの演題は「インターネット、SNSのトラブルがない世界へ」で、自分の体験を基にインターネットやSNSの危険性について指摘し、トラブルに遭った際には一人で抱え込まず周りに相談するよう訴えていました。

小学校は発表のみで賞はありませんが、茉利さんは奨励賞を獲得しました。3人とも学校の代表にふさわしい、立派な発表でした。



いじめ調査を実施しました

●いじめとは？

一定の人間関係にある児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為であって、対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの(いじめ防止対策推進法より)

学校は集団生活の中で様々な事を学ぶ場です。多様な育ち方をしてきた児童が集まり生活をすると、衝突やトラブルが原因で心身の苦痛を受ける事はいつでも起こり得ます。苦痛に寄り添って対応していく事はもちろんですが、それを回避、又は解決にもっていく態度や考え方を身に付けることも集団生活の中で学ぶべき事と考えています。

さて、10月末に実施したいじめ調査において、小学校で、からかいや言い方がきついなどの内容で3件の訴えがあり、教育委員会に報告を上げました。人それぞれ感じ方が違うため、言っている本人は相手が嫌がっていると気づかないこともあるかもしれません。こう言ったら相手がどう思うかなと、言う前に考える一呼吸を大切にしてほしいです。また、相手が嫌がっているとわかった時点で、素直に謝れる心を大切にしてほしいと思います。

いじめには、加害意識がない場合や、被害にあっても否定したり自己の責任を口にしたりする場合もあります。「いじめアンケート」のみならず、今後も他のアンケートや面談、見取りなどを通して事実把握に努め、被害者の苦痛に寄り添った対応ができるよう心がけていきます。それと同時に、他者を思いやる心にあふれ、いじめ行為を行わない、認めない雰囲気を作り上げていきたいと思ひます。